

ピープルセンタードケアとは何か、そしてそれは がん医療にどのように取り入れられるのか？

(人を中心とする統合された医療サービスに関するWHOの世界戦略)

ピープルセンタードケアとは、市民、介護者、家族、コミュニティの視点と経験を、信頼できる医療システムの参加者および受益者として取り入れ、彼らのニーズと好みに包括的な方法で対応するアプローチです。

このアプローチは、市民、家族、コミュニティを医療システムの中心に据え、医療およびがんサービスの設計と提供方法に根本的な変化をもたらします。

がん医療におけるピープルセンタードケアの重要な要素

- がんだけではなく、その人全体に焦点を当てる
- がん患者、家族、地域社会をケアの積極的なパートナーとして関与させる
- 医療サービスや医療現場でがん医療を横断的に行う
- 身体的、感情的、社会的ニーズに取り組む
- 人々とコミュニティが自らの健康を管理できるようにする

がん医療におけるピープルセンタードケアの利点

- がん患者とサバイバーの生活の質の向上
- より良い健康アウトカムと患者体験
- 医療資源のより効率的な利用
- 医療費の削減
- 患者と地域社会の満足度とエンゲージメントの向上
- コミュニティのレジリエンスとサポートネットワークの強化

ピープルセンタードケアのコミュニティの側面

- コミュニティが自らのニーズを表明し、医療の提供に影響を与えることを可能にする
- 変化を計画し作り出すコミュニティの能力を強化する
- 地域医療の提供と地域医療従事者の関与を促進する
- 社会的ネットワークと相互支援システムを構築する
- コミュニティレベルでヘルスリテラシーを向上させる

用語の区別

患者中心のケア：患者の気持ち、価値観、および自身のケアに関する好みを尊重します。患者をパートナーとして扱うことの重要性が強調され、共同で意思決定を行うこともあります。ケアはさまざまなサービスと提供者の間に連携され、治療のす

すべての側面が調整され、混乱が軽減され、全体的な経験を向上させます。患者中心のケアは、特に医療システム内の臨床的な状況と相互作用に関連しています。

パーソンセンタードケア：患者をひとりの人間として捉え、病気だけでなく生活のあらゆる側面を考慮します。心理的、社会的、精神的なニーズなど、その人の独自の経験や希望を大切にします。個人の生活、アイデンティティ、社会的背景を考慮しながら、ホリスティックな方法でその人をサポートします。

ピープルセンタードケア：患者中心モデルとパーソンセンタードモデルの最も重要な要素を、より広いコミュニティの文脈の中に位置付けます。このモデルは、市民が積極的に治療に参加し、市民の経験と価値観が聞き入れられ、尊重されるという、可能な限り広い視野を持ちます。また、家族、社会的つながり、より広いコミュニティの関与を、質の高いがん医療の重要な柱としています。また、市民の健康増進に取り組み、すべての人々に公平かつ包括的にサービスを提供できる医療システムの設計を目指します。

ピープルセンタードケアの実践における課題

- 断片化された医療システム
- ケアの連携不足
- 多くの現場でリソースが限られている
- 患者とコミュニティの関与に対する文化的小よび制度的な障壁
- 予防と健康増進への取り組みが不十分

ピープルセンタードケアを推進するための行動

- 地域社会の参加を含む国家政策と戦略を策定する
- プライマリケアと地域密着型サービスを充実させる
- あらゆるレベルでケアの連携と統合を強化する
- 教育と共同意思決定を通じて患者とコミュニティに力を与える
- デジタルヘルス技術とデータシステムに投資する
- 医療従事者にピープルセンタードケアのアプローチの研修を行う
- コミュニティパートナーシップとサポートネットワークを構築する